

平成28年2月16日付
琉球新報
台湾南部地震義援金

沖繩経済同友会（代表幹事・玉城義昭沖繩銀行頭取、大嶺満沖繩電力社長）は15日、台湾南部地震への義援金20万円を台北駐日経済文化代表処那覇分処の蘇啓誠処長に手渡した。8日の同友会例会で緊急提案し、会員に寄付を募った。



玉城氏（写真左）は「人流、物流ともに沖繩と台湾の交流は深い」と呼び掛けの経緯を説明。蘇氏（同左から2人目）は「被災者の生活再建と復旧・復興に役立てる」と感謝した。

平成28年2月17日付
琉球新報
沖繩平和賞支援募金

経済短信

◆沖繩経済同友会、平和賞に20万寄付
沖繩経済同友会の玉城義昭、大嶺満両代表幹事らが15日、県庁を訪ね、会員から寄せられた「沖繩平和賞支援募金」への寄付金20万円を浦崎唯昭副知事に手渡した一写真。うち10万円は同会の特別会員・台北駐日経済



文化代表処那覇分処（蘇啓誠処長）が寄贈した。同友会は支援募金制度が始まった2003年度から募金を続けている。

玉城代表幹事は「沖繩から国際平和に貢献していく平和賞の趣旨に賛同し、会員による寄付が続いてきた」とあいさつ。浦崎副知事は「毎年の協力に感謝する。有効に活用し、沖繩の平和への思いを世界に訴えていく」と述べた。